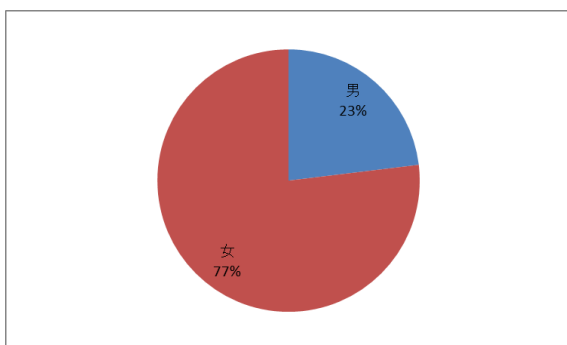


平成 27 年度大阪介護福祉士会アンケート
集計（初任者研修：平成 28 年 3 月 4 日実施）

初任者研修への参加者総数は 13 名であった。

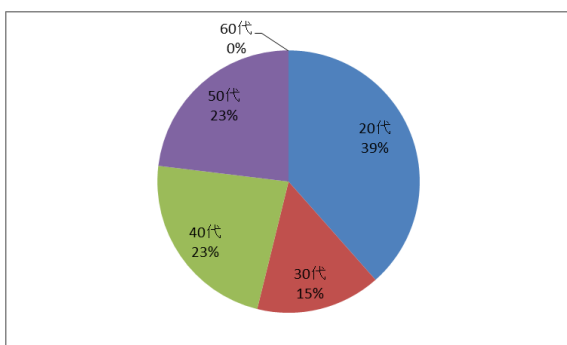
1. 性別

男性 23%（3 人）、女性 77%（10 人）であった。



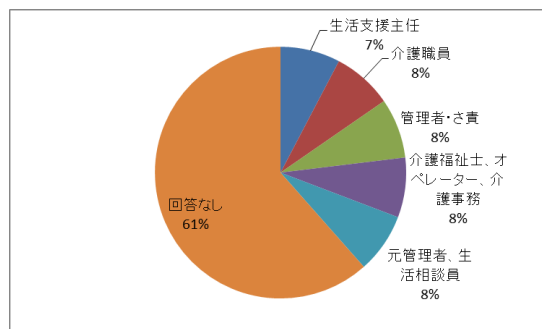
2. 年齢

20代 39%（5 人）、30代 15%（2 人）、40代（3 人）、50代（3 人）、60代 0%（0 人）であった。



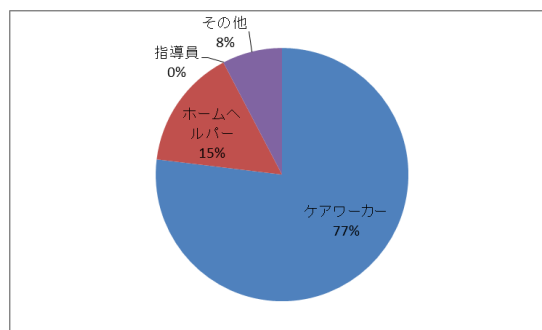
3. 役職

生活支援主任 7%（1 人）、介護職員 8%（1 人）、管理者・さ責 8%（1 人）、介護福祉士、オペレーター、介護事務 8%（1 人）、元管理者、生活相談員 8%（1 人）、回答なし 8 人（61%）であった。



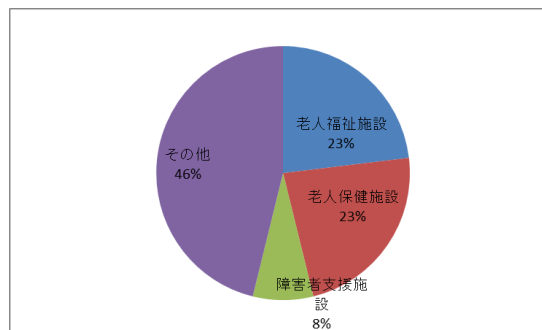
4. 職種

ケアワーカー 77%（10 人）、ホームヘルパー 15%（2 人）、指導員 0%（0 人）、その他 8%（1 人）であった。



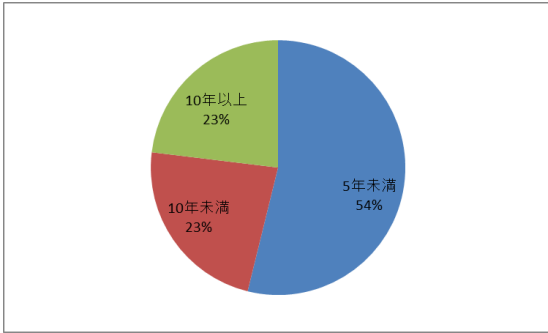
5. 所属職場

老人福祉施設 23%（3 人）、老人保健施設 23%（3 人）、障害者支援施設 8%（1 人）、その他 46%（6 人）であった。その他としては、リハビリ病院、知的障害グループホーム、小規模多機能型居宅介護、病院内・通所リハビリテーション、居宅・訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護があった。



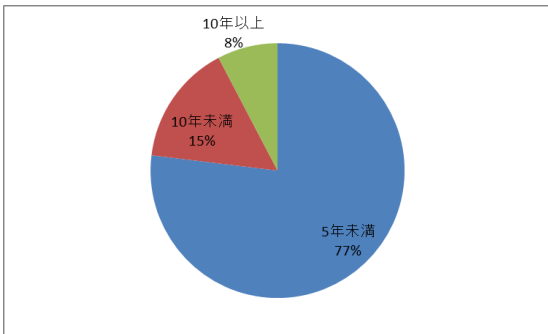
6. 介護通算年数

5 年未満 54%（7 人）、10 年未満 23%（3 人）、10 年以上 23%（3 人）であった。



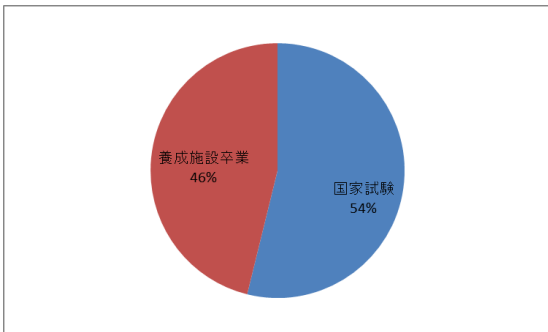
7. 介護福祉士資格取得後の年数

5年未満 77% (10人)、10年未満 15% (2人)、10年以上 8% (1人)であった。



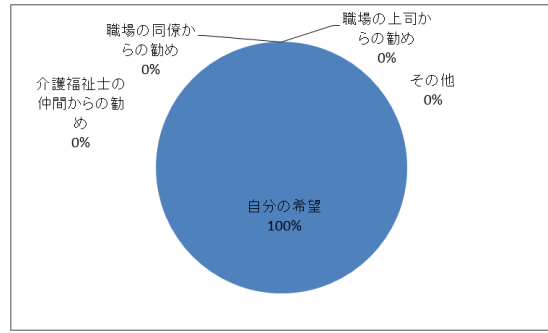
8. 介護福祉士資格取得方法

国家試験 54% (7人)、養成施設卒業 46% (6人)であった。



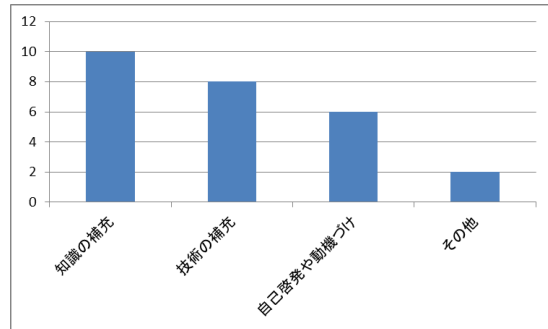
9. 受講の動機

自分の希望 100% (13人)、職場の上司からの勧め 0% (0人)、職場の同僚からの勧め 0% (0人)、介護福祉士の仲間からの勧め 0% (0人)、その他 0% (0人)であった。



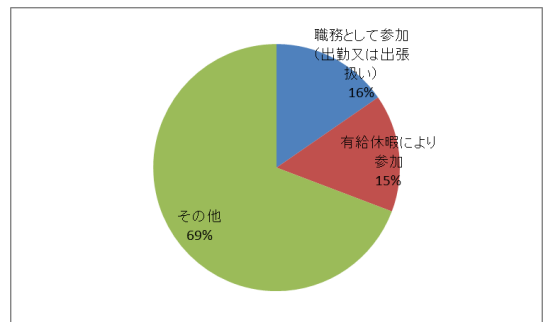
10. 受講目的 (複数回答)

知識の補充 10件、技術の補充 8件、自己啓発や動機づけ 6件、その他 2件であった。その他には、認定鍵後福祉士取得のため、職場でいじめに合わないよう。認められるようにという回答があった。



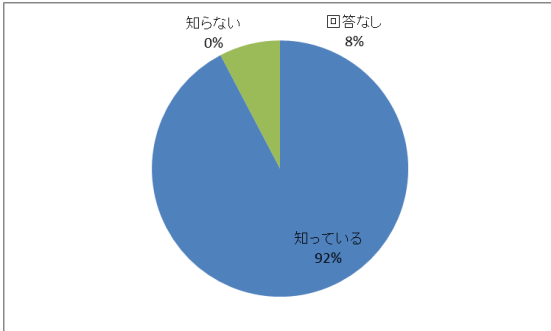
11. 勤務との関係

職務として参加 (出勤又は出張扱い) 16% (2人)、有給休暇により参加 15% (2人)、その他 69% (9人)であった。その他の回答には公休、産前休暇中、公勤休暇により参加、シフト勤務なので公休を利用しています、希望休を出して通常の休みという回答があった。



12. 専門職能団体である介護福祉士を知っていますか。

知っている 92% (12 人)、知らない 0% (0 人)、回答なし 8% (1 人) であった。



13. 介護福祉士資格取得後もさらに高めたいと考える専門的な知識・技術について教えてください。

以下の内容の回答があった。

まだまだ勉強不足で分からないことが多いのです。
スライディングボードを利用した、移動や福祉用具を使用した介護
判断力、責任力、冷静さ
認定介福、ケアマネ、社会福祉士、精神等できる範囲で取得していきたい。救命救急も向上したい
医療、福祉用具
制度を深く学んでいく
介護技術、認知症ケア
医療的ケア
認知症の知識、褥瘡のケア、防ぐためのポジショニング、口腔ケア、レクリエーション
移乗介護、食事介助等。法律(介護の制度)(障害者虐待防止法)
サービス提供責任者、計画作成責任者(敵巡回)の役割、書類の書き方、チームワーク
高齢者の心理についてメンタルケア(スタッフも含めて)看取りケア
相談援助

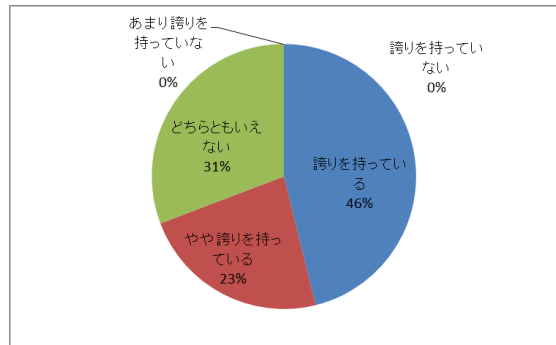
14. 介護福祉士会へ入会する場合、あなたが会に求めることはなんですか。

以下の内容の回答があった。

今回、参加をして大阪介護福祉士会について、会長よりご講義頂き、これからは色々な研修に参加をしスキルアップしていきたいと思います。
新しい知識や技術を教えて頂きたいです基本や考え方も
介護分野にとどまらず、色々な分野(看護などの医療、栄養のこなど)を研修があればいいなと思います
現場で困っていること等、相談に乗って欲しい。何が正しいのか等。HPの更新や研修の予定を早めに更新してほしい。不要な物は削除してほしい
研修会の開催
介護福祉士の世間への認知度の向上
知識、技術向上のための研修会、他施設の見学
平日等の研究が多いので(土)(日)の研修も作っていただきたい
研修会や会員の交流会、所属職場別の勉強会、情報交換、事例研究、介護福祉士の処遇改善(賞金up)
情報提供

15. あなたは介護福祉士であることに誇りをもっていますか。

誇りを持っている 46% (6 人)、やや誇りを持っている 23% (3 人)、どちらともいえない 31% (4 人)、あまり誇りを持っていない 0% (0 人)、誇りを持っていない 0% (0 人) であった。



また、理由として以下の回答があった。

誇りを持っている	今回の研修を受けて、また誇りが持てるようになりました。受講前のモチベーションが下がりがちでしたが、また、目標ができて頑張ろうと思いました。3日間ありがとうございました。 長い人生を歩んでこられた方々からたくさんことを学び、利用者さんから「あなたにあうために頑張れる」といってもらえ、人生の残り少ない時間を共にさせて頂き、こんなに感動できる仕事は他にないと思うそういった場面がなんともあった 介護技術の研鑽が必要のため 私は誇りを持って支援をしています。自分がしんどくても介護福祉士である意識することで、もっと努力しないといけない、業務におられるだけにならないようにと常に頭で意識しました。ご利用者がなぜつらいのかも考えようとして、勉強したことですとイライラしているということもなかったもので、ご利用者様の様子を家族の次の次の次くらいにかかわらせて頂いていることも私にとっても良い経験です。 国家資格
やや誇りを持っている	未だ未練であるので、b介護福祉士は日本の未来の需要に対応し、課題を軽減できる。誇りを持っていることについては人の為になり社会貢献できる。指導もでき広められる 自分にしかできないことをあがと思っています
どちらともいえない	これから自信をもっていけるように知識をつけていきます。そして胸をはって誇れる仕事をしていると思いたいです 職場で名札など表示されることがない。無資格の人のと同じ仕事をしている 職場においてあまり重視されていない